

主要な機器の使用方法 (図解)

どんなときにどう使う？-③

3

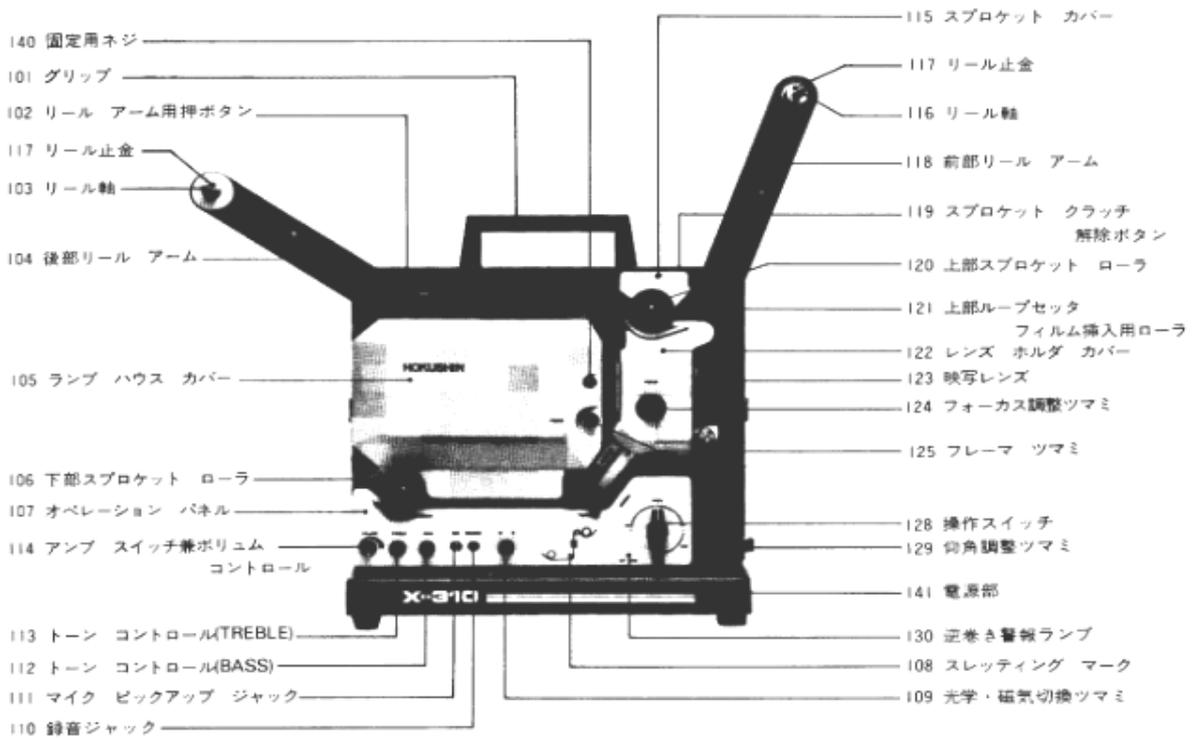
16ミリ映写機でフィルムを投影したい

用途

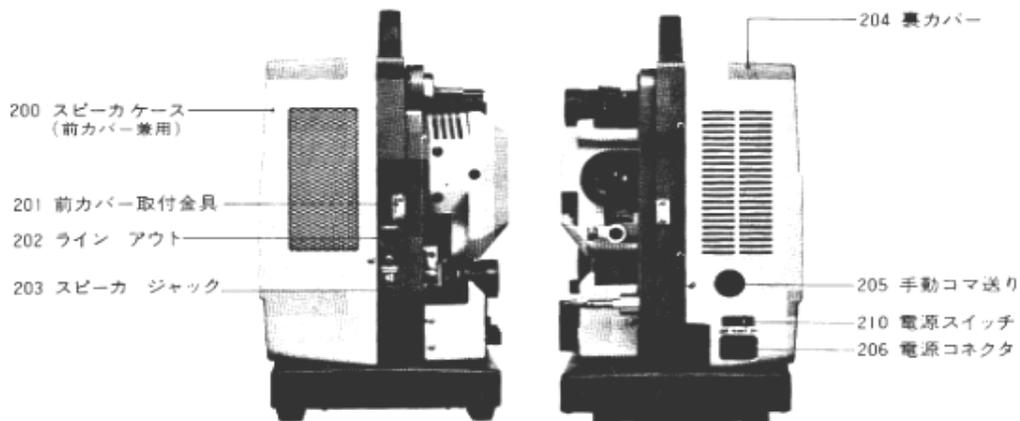
■16ミリ映写機を使って映画鑑賞等を行う。

※16ミリ映写機、フィルム等の貸出しは、春日部市教育委員会(視聴覚センター)が主催する「16ミリ映写機J簡易技術講習会」を終了した方に限ります。

各部の名称



第1図 前面各部



第2図 側面各部

(1) 映写前の準備

映写機、フィルム、スクリーン、映写台、暗幕設備、電源(消費電流は約7A)、電源コード、スピーカーコードの安全な取付け、スピーカーの位置、懐中電灯、非常口等の確認。

(2) 映写準備

①しっかりとした台の上へのせ、取付金具を開き、カバーを外す。

②前後のリールアームをロックのかかる位置まで起こす。

③スピーカーをスクリーンの近くに設置する。

(広い会場の際は、声の通りを良くするため、スピーカーは高い位置に設置する。)

④映写機の操作スイッチおよびボリュームスイッチが切っていることを確認してから、始めに電源コードを電源コネクタに接続し、つづいて電源コンセントに接続する。

⑤フィルム通路を清掃する。

(3) 空転試験

①電源スイッチON。

②操作スイッチをSET→FOR→LAMPの位置まで回し、ランプを点灯させる。

③あおり調整をまわし、画面の位置を決める。

④ピント調整つまみをまわし、スクリーンに対して画面サイズの適否を見る。

⑤ボリュームスイッチを入れ、ボリュームコントロールをまわして音声テストをする。→(サーという一種の雑音がある)サウンドレンズとサウンドドラムの間に紙片を挿入して光線をさえぎると、「ボコボコ」という音が出る。テスト後はボリュームをしぼっておく。

(4) フィルムの装着

①巻取りリールを後部リール軸に取り付け、リール止めを倒す。

②前部リール軸にパーフォレーション(穴)が手前になるようフィルムを取り付け、リール止めを倒す。

③4つのローラーにフィルムを掛ける。

※操作スイッチがOPENになっている事を確認後、フィルム先端を持ち、装填通路に沿って引っ張りながら4つのローラーに順番にフィルムを掛ける。

※フィルム通路図が映写機に貼付されています。

④フィルムを巻取りリールに届くのに必要な量だけ引き出し巻き付ける。

⑤フィルムを映写通路にセットするため、操作スイッチをSETにする。

⑥目合わせつまみ(手動送り)を回し、フィルムがきちんと送られているか点検する。

(5) 映写開始

- ①フィルムスタート(操作スイッチをFORの位置にする。)
- ②ランプ点灯(操作スイッチをLAMPの位置にする。)
- ③ボリュームコントロールを回し、音量を上げ調整する。
音質を調整する。
- ④画面のピントを合わせる。
- ⑤画面が2階になる(二段写り)場合は、フレーミングつまみ(窓なおし)で調整する。

(6) 映写終了

- ①ボリュームを下げる。
 - ②ランプを消す。(操作スイッチをFORの位置に戻す)
 - ③モーターを止める。(操作スイッチをSET→OPENの位置に戻す)
- ※連続(再度)上映する場合は、ここでフィルム通路の清掃をして次のフィルムをかける。

(7) 巻き返し

- ①フィルムを通路からはずし、フィルム終端を直接前部リールに巻き付ける。
- ②操作スイッチをREWの位置に。
- ③巻き返しが終わったら、操作スイッチをOPENの位置に戻す。

(8) 後片付け

- ①映写機が熱をもっている場合は、操作スイッチをFORの位置で冷却する。
(5分ほどで冷える)
 - ②電源スイッチを切りフィルム通路を清掃する。
 - ③映写機の各部を元位置に戻して格納する。
- ※アオリの戻し忘れに特に注意のこと